

「未来の理想の移動空間/サービス/体験価値」

Presented by 小島プレス工業株式会社

昨今、QOL向上/ウェルビーイング/SBNRといった観点で
「精神的な幸福度や環境」が重要視される流れが出てきました。
モノ単体というよりも、そのモノで何を実現でき、得られる経験や体験はどんなものがあるか。
それで自身の満足度は得られるのか？
このような「モノ+コトの体験価値」が今後ますます大事になってくると考えられています。

単なる移動手段のモビリティではなく、
未来では「コト目線/体験価値」がどのように進化しているのか？
是非、皆様の空想を膨らませてください。

今回のお題の提供社「小島プレス工業株式会社」では
これまでも学生の皆様と「未来の車」を考えてきました。

- ①2019 「未来の車のカタチを提案する」プロジェクト
- ②2022 「10年後の車のカタチをデザインする」プロジェクト

過去の学生の皆様が考えた事例も参考に、自分ならではの自由なアイデアを考えてみてください。

※あくまでも参考情報としてご覧ください。今回のお題を考える上で、これらのアイデアを取り入れる必要はありません。

産学連携プロジェクトのご紹介

小島プレス工業×南山大学 産学連携プロジェクト (PBL-COIL)



PBL COILとは？

南山大学独自のテラーメイド型教育プログラム「NU-COIL」の上級科目で実践的なCOIL型授業。

『国際産官学連携PBL』の授業を通じ、南山大学と海外協定校の学生が協働して、企業や団体、官公庁が抱えているビジネスや行政上の課題に取り組みます。

2019



国際産官学連携 PBL科目 (PBL COIL)
未来の車のカタチを提案する
小島プレス工業株式会社 × アリゾナ州立大学 × 南山大学

<https://office.nanzan-u.ac.jp/nu-coil/pblcoil-special/2019pbl-c/>

2020/2022



2020年度 国際産官学連携 PBL C プロジェクト
10年後の車のカタチをデザインする
小島プレス工業株式会社 × 香港中文大学 × 南山大学

<https://office.nanzan-u.ac.jp/nu-coil/pblcoil-special/2020pbl-c/>

背景

- ・ 学生さん達に自動車業界を知ってもらい興味を持ってもらうきっかけづくり
- ・ 学生さんだからこそ既成概念に捉われない自由な発想力や海外協定校とのグローバルな意見交換に触れる機会として産学連携を実施

地球温暖化といった環境問題から考え、アリゾナ州ならではの環境を活かしたやさしい社会を模索

1. キーワード

・環境にやさしい社会

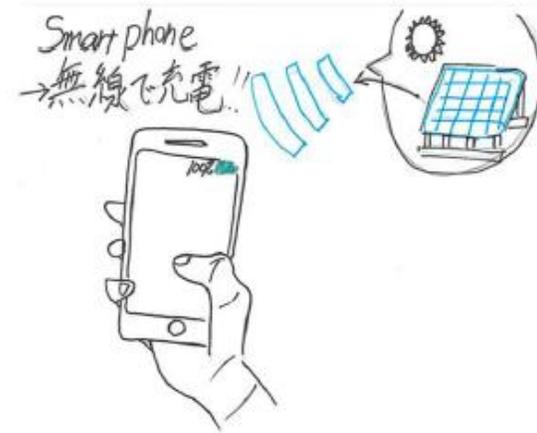
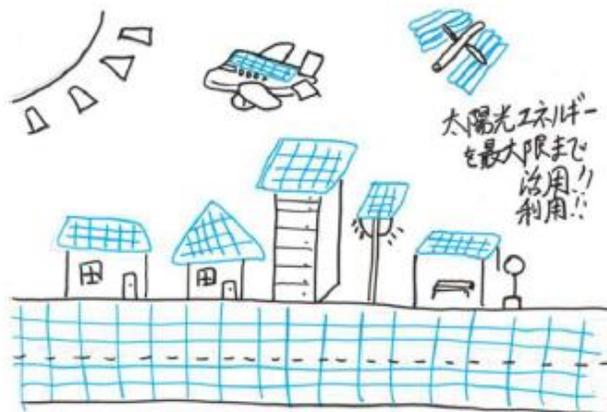
- ・再生可能エネルギー
- 低コストな電力供給
- 太陽光発電システム拡大



なぜ太陽光発電？

車での発電、太陽光発電が一番しやすい。

例：車止まっても発電できる

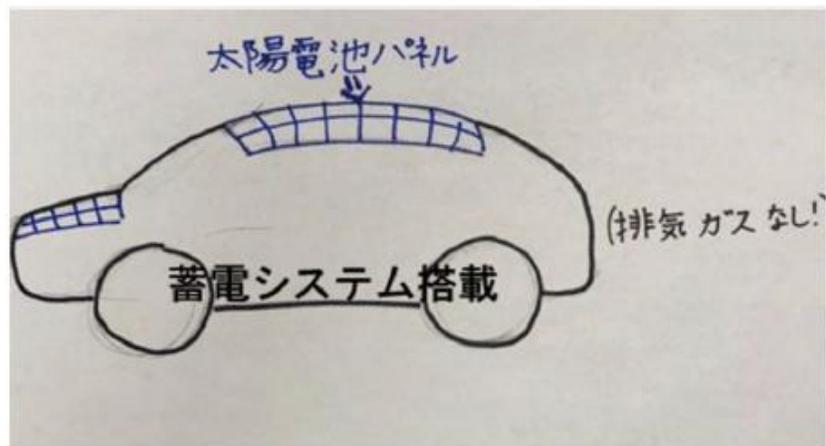


- ・アリゾナ州は晴れの日が多い
- ・太陽光発電の初期費用・維持費を低減化し普及率を上げる

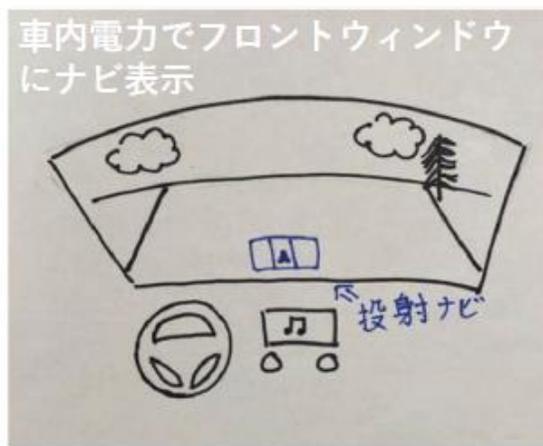


街中に太陽光発電を普及させ生活での電力を補う環境/社会
スマホ充電も無線環境でどこでも充電できる生活環境

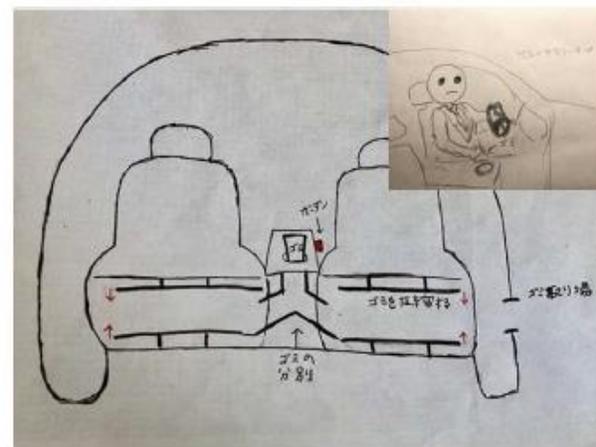
人にも環境にも優しい車室内空間の提案



自己発電モビリティで環境汚染をしない



視線移動を少なくし
安心・快適な運転サポート



車内でのゴミ分別・圧縮で
簡単リサイクル

GOOD POINT

- ・ 現状の社会/環境が抱える問題から考え、**ありたい未来の社会/環境を模索**
- ・ 環境からの新しいモビリティと室内空間だけでなく、**使用シーンまで想定**されている事でイメージがしやすい

ユーザーや用途に応じてカスタムできる移動空間

特徴③いつでもどこでも快適

プライバシーを守り 幸福感を高める

組み合わせ車

用途に応じて 組み合わせる・分ける

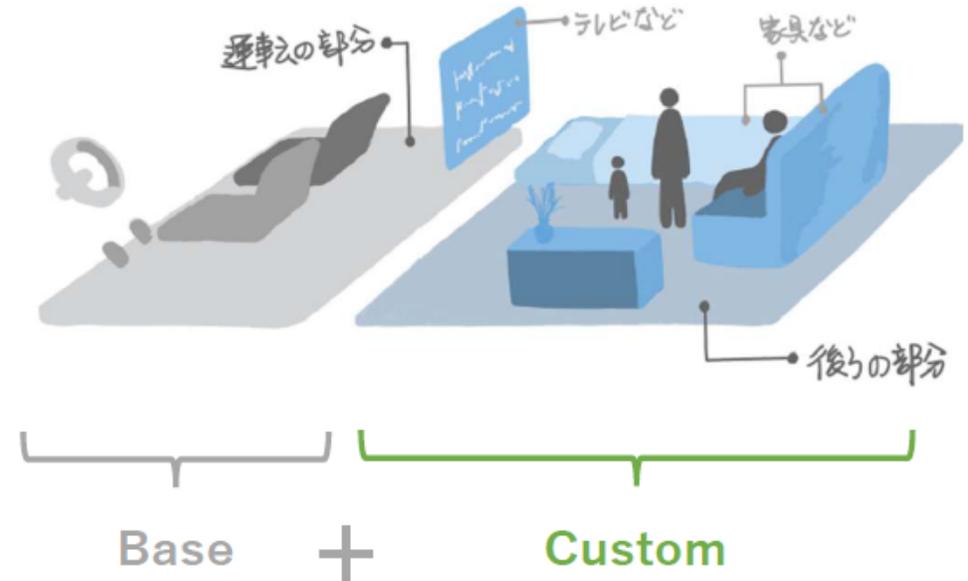
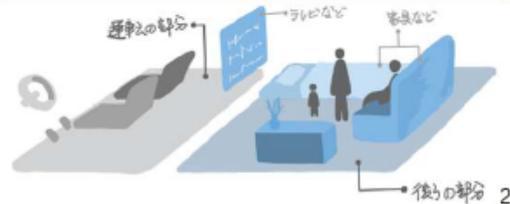
娯楽を楽しむ空間

ただの移動手段ではない

AI・VRを活用 有意義な時間を過ごす

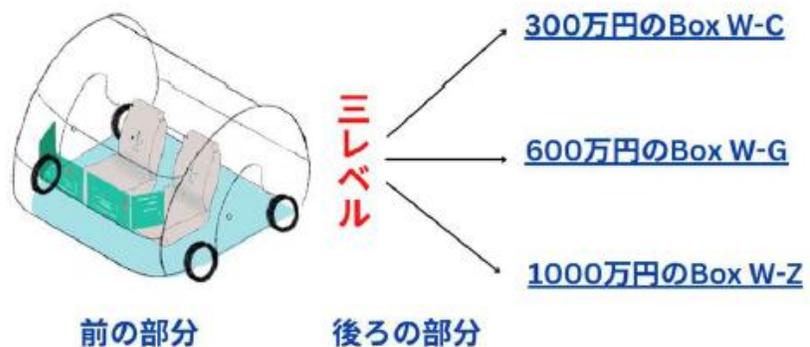
自由にカスタムする

自分好みに車の外観や内装を変える



生活スタイルも違えば目的も求めるコトも人それぞれ
多様化するユーザーに寄り添った室内空間

特徴①組み合わせ自由、お値段いろいろ



GOOD POINT

- ・ 多様化する生活スタイルに適応した移動空間の新しい在り方やサービス
- ・ それによる具体的なQOL向上する体験価値/付加価値の明確化